資料No.3

第7次岡谷市生涯学習推進計画（2025年度－2028年度）

（案）

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン

～一人ひとりが幸せに暮らしていくために～

武井武雄「おこりっぽいやま」

岡谷市教育委員会

【はじめに】

本市では、令和６年度に第５次岡谷市総合計画後期基本計画がスタートし、将来都市像「人結び　夢と希望を紡ぐ　たくましいまち岡谷」の実現に向けてまちづくりを進めています。計画の中では、「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を教育に関する基本目標として掲げ、この実現に向けて第３期岡谷市教育大綱が定められました。大綱では、学校教育、生涯学習、スポーツの３つの柱がそれぞれめざす「ひとづくり」の姿をスローガンとして、地域・家庭・学校が互いに連携しながら、行政との協働により『岡谷のひとづくり』を進めています。

こうした取組を積極的に推進するため、第７次岡谷市生涯学習推進計画（岡谷市学びの紡ぎ応援プラン）を策定することとしました。

日本のことわざに「六十の手習い」というものがあります。年齢にかかわらず、学びを始め、新たなスキルを習得することに遅すぎるということはない、というメッセージです。

『人生 100 年時代』といわれる現在、以前学んだことの「学び直し」や、「新たな学び」に向けた取組が見直されています。幸せや豊かさに関する価値観やライフスタイルが多様化してきているからこそ、学びの扉を開けて一歩踏み出すことで、新たな仲間と出会い、地域とのつながりが育まれ、学びの楽しさを紡いでいくことができるのではないかと感じています。

あらゆる世代の人たちが時間や場所にとらわれず、学ぶことに胸を弾ませ、紡いでいけるよう、計画名に「学びの紡ぎ」という表現を取り入れ、計画の策定を進めてきました。本計画に掲げた生涯学習の場や機会が、充実した人生を送るための一助となれば幸いです。

結びに、本計画を策定するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご協力をいただいた多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

令和７年３月

岡谷市教育委員会
教育長　宮坂　享

【目次】

第1章 計画の策定にあたって

第1節　計画策定の趣旨と背景　・・・　1
第2節　基本目標　・・・　2
第3節　計画の位置づけ　・・・　3
第4節　施策の体系　・・・　4
第5節　計画の期間　・・・　6
第6節　計画の推進体制と評価　・・・　7

第2章 生涯学習の現状

第1節　国・県の動向　・・・　8
第2節　岡谷市の動向　・・・１０
第3節　第６次岡谷市生涯学習推進計画の検証と課題　・・・１２

第3章 基本目標と施策展開

第1節　様々な学びの形づくり　・・・１５
　施策１　生涯学習の充実
　施策２　読書活動の充実
　施策３　文化施設の活用
　施策４　機会の充実と活性化
第2節　誰もが学び合える地域づくり　・・・２０
　施策１　地域との連携
　施策２　家庭との連携
　施策３　学校との連携
第3節　未来につながる学びづくり　・・・２２
　施策１　青少年活動の推進
　施策２　健全な環境づくり
　施策３　人材育成と活用
　施策４　文化財の保護・活用

【資料編】　・・・２６

１　生涯学習関連施設の利用状況
２　各種団体からの意見・要望（抜粋）
３　生涯学習推進に関連する他の計画（抜粋）

岡谷市生涯学習関連施設ＭＡＰ
岡谷市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱
プラン策定までの経過
岡谷市民憲章、人権尊重都市宣言、おかや子育て憲章

第１章　計画の策定にあたって

第１節　計画策定の趣旨と背景

「生涯学習」は、一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、個人が自発的な意思に基づいて、生涯を通じて学習を行うものです。多様な人々と出会い、教養を高め、自己実現を図るための学習は、長寿化が進展する人生 100 年時代において、個人それぞれの幸せや生きがい、地域や社会が将来にわたり持続的豊かさを感じる「個人と社会のウェルビーイング※1」の実現のために重要な意義を持っています。

現代は、地球規模の気候変動とそれに伴う災害の激甚化、頻発化や、新型コロナウイルス感染症による暮らしや経済への影響、激変する国際情勢など、さまざまな危機が複合的に訪れ、先を見通すことが難しい時代となってきています。

また、物質的な豊かさが一定程度達成される中で、生活の質やゆとりある暮らしを重視する傾向が高まっており、幸せや豊かさに関する価値観や人々のライフスタイルが一層多様化してきています。

このような状況のなかで、年齢、性別、国籍、障がいの有無、家庭環境などにかかわらず、だれもが等しくその存在と役割を認められ、自分らしく生きることができる社会を実現するためにも、生涯学習の重要性は高まっています。

第７次岡谷市生涯学習推進計画（以下「本計画」という。）は、これまでの本市の取組とこれら社会環境の変化等を踏まえ、今後の本市の生涯学習施策を総合的、計画的に推進するための新たな指針として策定するものです。

なお、生涯学習活動は、学校教育や家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など多岐にわたっているため、岡谷市教育振興基本計画※2 として位置づけられている「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」、「はつらつ岡谷スポーツプラン」などと内容が重複する部分については内容を省略してあります。

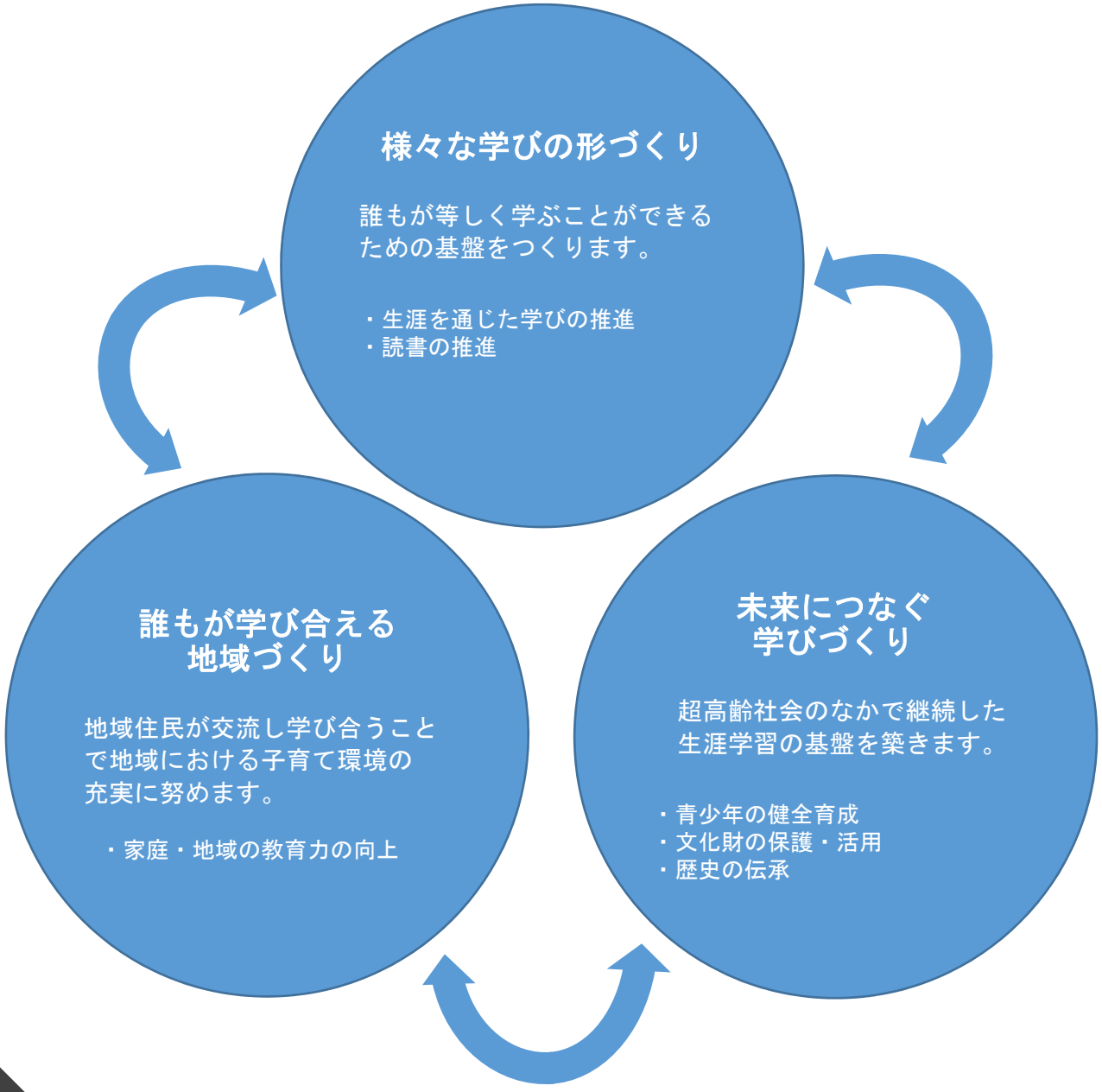
※１：身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみではなく、生きがいや人生の意義など、将来にわたる持続的な幸福を含み、また、個人だけではなく個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態である事を含む包括的な概念。

※２：教育振興に向けた施策を総合的、計画的に進めるための基本計画。改正教育基本法で、政府が作り国会に報告することが定められた。地方自治体も国の計画を参考に、地域の実情に応じた基本計画を作ることが努力目標となっている。

第２節　基本目標

生涯学習活動は、「人生 100 年時代」を心豊かに迎えるために大変重要であることから、将来へ向けて安定した生涯学習活動の基盤を築くため、以下の３つのキーワードを掲げ、これらを本市の生涯学習推進の基本目標とし、施策を展開していきます。

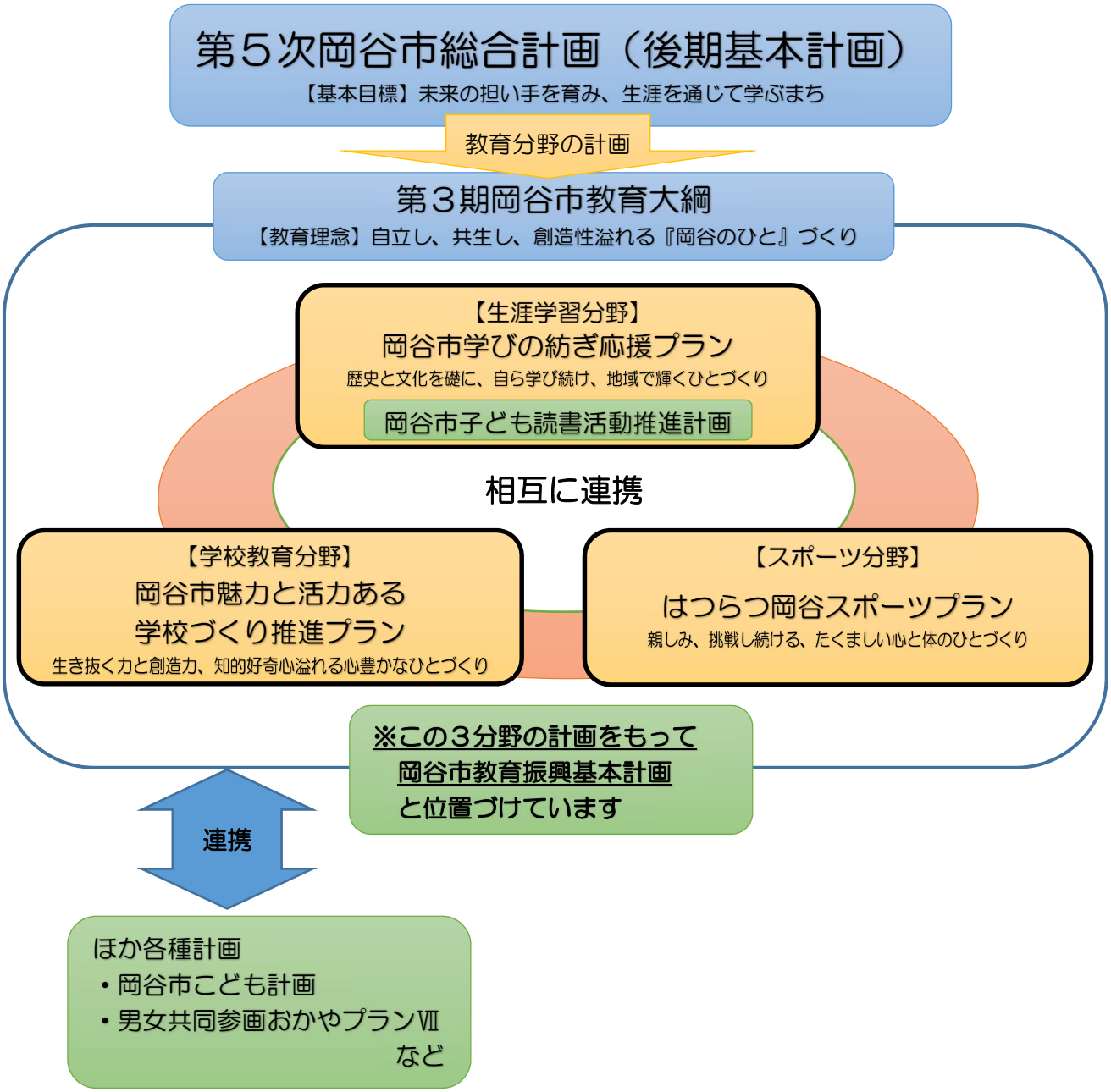
基本目標１　様々な学びの形づくり
基本目標２　誰もが学び合える地域づくり
基本目標３　未来につなぐ学びづくり



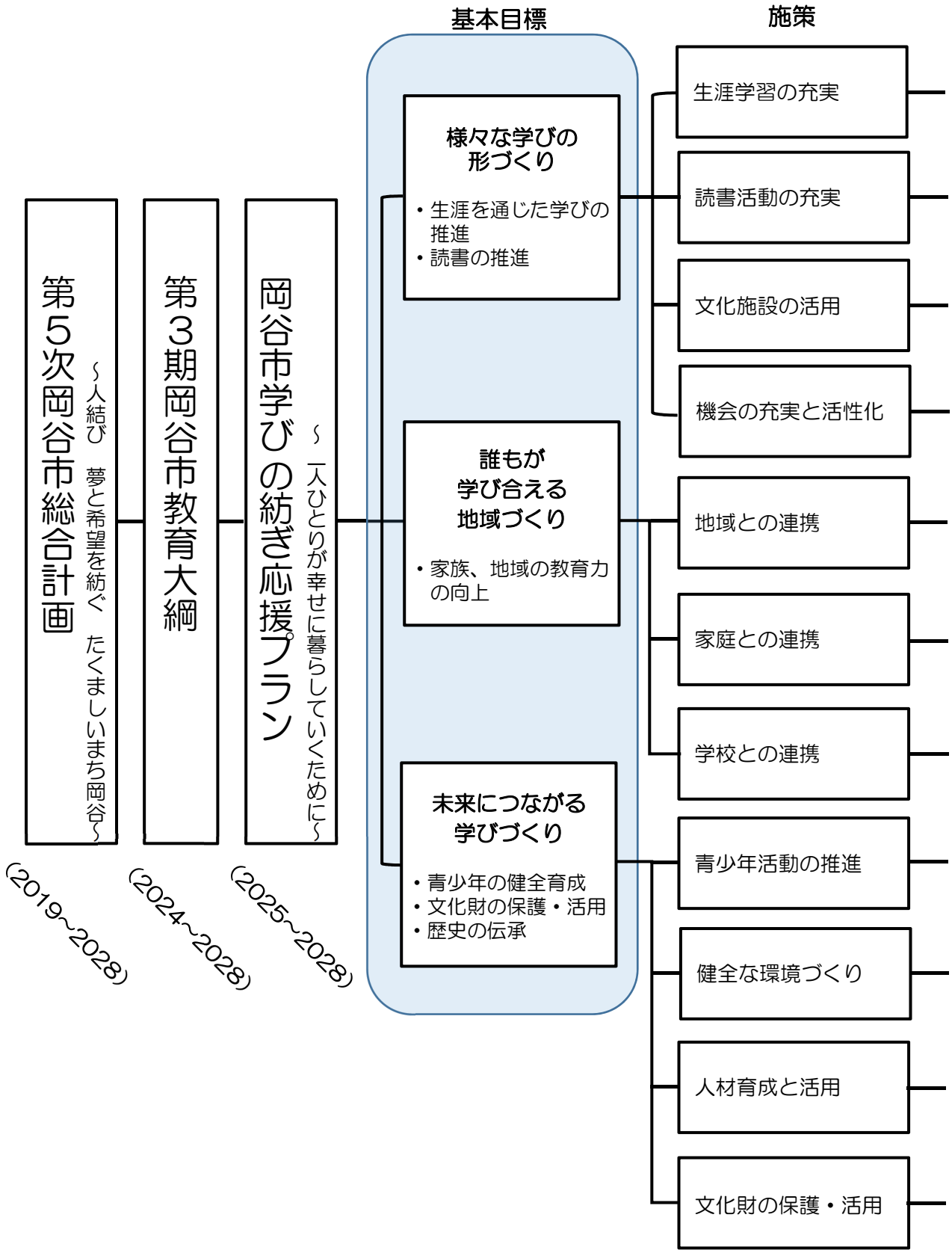
第３節　計画の位置づけ

本計画は、第５次岡谷市総合計画後期基本計画と第３期岡谷市教育大綱の個別計画として位置づけます。

また、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」及び「はつらつ岡谷スポーツプラン」とともに「岡谷市教育振興基本計画」とし、その他関連する各種計画との整合を図りました。



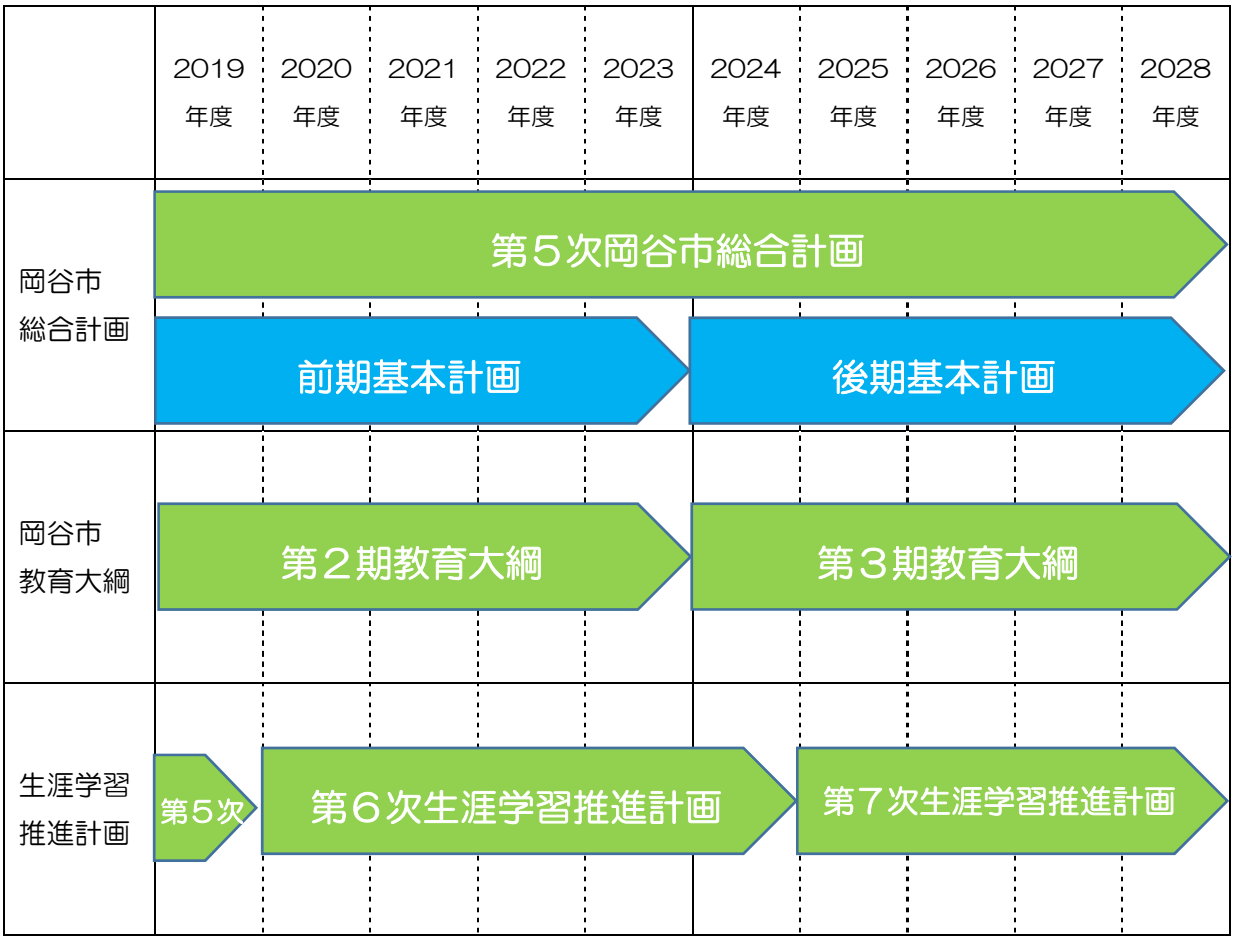
第４節　施策の体系


基本目標
施策
岡谷市学びの紡ぎ応援プラン
～一人ひとりが幸せに暮らしていくために～
(2025～2028)
第３期岡谷市教育大綱
(2024～2028)
第５次岡谷市総合計画
～人結び　夢と希望を紡ぐ　たくましいまち岡谷～
(2019～2028)
様々な学びの形づくり
・生涯を通じた学びの推進
・読書の推進
誰もが学び合える地域づくり
・家族、地域の教育力の向上
未来につながる学びづくり
・青少年の健全育成
・文化財の保護・活用
・歴史の伝承
生涯学習の充実
読書活動の充実
文化施設の活用
機会の充実と活性化
地域との連携
家庭との連携
学校との連携
青少年活動の推進
健全な環境づくり
人材育成と活用
文化財の保護・活用

細施策	主な事業
①生涯学習機会の充実 ②情報提供の充実 ③生涯学習施設の活用と設備の充実 ④障がい者の生涯学習推進	・各種講座の実施と連携 ・SNS を活用した情報発信 ・各施設の安心・安全な環境整備 ・障がい者支援団体との連携
①読書の推進 ②子ども読書活動推進計画の推進 ③デジとしょ信州の活用	・読書バリアフリー推進事業 ・視聴覚資料の充実 ・電子書籍の利用体験
①美術考古館の活用 ②シルクファクトおかやの活用 ③カノラホールの活用 ④イルフ童画館の活用	・地域の特性を活かした各種企画展示 ・子どもから大人まで幅広く参加できるイベント ・各施設で実施する特色あるワークショップ
①参加機会の充実 ②文化・芸術活動の活性化	・様々な年齢層の方がいつでも気軽に参加できる講座の開催 ・学習活動の発表の場として実施する文化祭
①地域力による子育て支援 ②ボランティア意識の醸成	・学びのおかやサポート事業 ・郷土学習館との連携
①家庭教育への支援 ②親子のふれあい機会の充実 ③子育て中の親同士の交流の場づくり	・成長樹(期)子育て実践ポイントの活用 ・家庭教育学級、輝く子育て支援学級 ・家庭読書の日の推進
①地域・学校協働活動の充実	・岡谷版コミュニティスクールとの連携 ・放課後子どもの居場所づくり事業 ・文化芸術系部活の地域移行の推進
①体験活動の場の充実 ②社会参加の促進 ③青少年リーダーの育成	・通学合宿、わんぱくアドベンチャー ・地区子ども会、リーダーズ倶楽部の支援
①非行防止活動の推進と環境づくり ②メディアリテラシー教育の推進 ③子育て関係団体との連携	・愛護パトロール ・メディアリテラシー育成活動の充実 ・環境浄化活動、街頭啓発活動
①講座等講師、学習グループ指導者の育成 ②ボランティアガイドの育成 ③地域リーダーの育成	・学びを活かす岡谷学　コレカラ岡谷事業 ・社会福祉協議会との共催講座 ・郷土学習館などの地域リーダー支援
①文化財の保存・活用 ②製糸関連遺構の保護・活用 ③寄贈・収集された作品や資料の保存・活用 ④新たな岡谷市史の編さん	・旧林家住宅や旧山一林組製糸事務所など文化財の保存 ・近代化産業遺産群の保護・活用 ・寄贈品や収集品の保存、調査や公開 ・資料の収集と市史の編さん

第５節　計画の期間

従来であれば計画期間は５年間ですが、教育に関する施策をより効果的に推進するため、計画の周期を「第５次岡谷市総合計画」及び「第３期岡谷市教育大綱」に合わせ、令和７（2025）年度から令和 10（2028）年度までの４年間とします。



第６節　計画の推進体制と評価

■推進体制

　関係部局との横断的な連携により実効性のある取組を展開します。また、地域や関係団体がそれぞれの役割と責任が果たせるよう互いに連携、協力を図ります。

■評価・検証

　第５次岡谷市総合計画後期基本計画における成果指標（KPI）により数値目標の達成度を把握します。

　また、社会教育委員の会議からの提言を踏まえ、取組の成果や課題を評価・検証し、次年度の施策展開に反映していきます。

■計画の見直し

　計画の推進にあたっては、本市の財政状況や生涯学習をめぐる情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

第２章　生涯学習の現状

第１節　国・県の動向

（１）国の計画と動向

第４期教育振興基本計画（令和５（2023）年度～令和９（2027）年度）

計画のコンセプト

- 令和 22（2040）年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

基本方針

①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）※1の推進
⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

国の第４期教育振興基本計画では、令和 22（2040）年以降の社会を見据え、将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて持続可能な社会を維持・発展させていくために、Society5.0※2で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成を目指しています。

また、人生 100 年時代を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現のためにも、人生の各場面で生じる個人や社会の課題解決に結びつく学習機会が保障され、学ぶことで充実感を得て継続的な学びにつながるように、生涯学び、活躍できる環境を整備するとともに、多様な世代への情報提供や学習成果の可視化、仲間とつながりながら学ぶことができる環境整備を図るとしています。

※１：学校がデジタル技術を活用して、カリキュラムや学習のあり方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立すること。

※２：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会として、第５期科学技術基本計画において提唱された。

（２）県の計画と動向

長野県総合５か年計画（しあわせ信州創造プラン 3.0）
（令和５（2023）年度～令和９（2027）年度）

基本目標『確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る』

・教育における重点政策ー誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる
①一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びを推進する
②一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
③高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する
④学びの共創による地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する

長野県教育振興基本計画
（令和５（2023）年度～令和９（2027）年度）

目指す姿『個人と社会のウェルビーイングの実現』
～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」を
とことん追求できる「探求県」長野の学び～

政策の柱
①一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる
②一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
③生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる
④文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

長野県では、令和５（2023）年度からスタートした「長野県総合５か年計画～しあわせ信州創造プラン 3.0～」をもとに、「第４次長野県教育振興基本計画」を策定し、「個人と社会のウェルビーイングの実現」を目指す姿として定め、一律一様の教育から「個別最適な学び」への転換と、多様な他者との対話や協働等による「協働的な学び」の一体的な推進により、一人ひとりが多様な幸福を追求し、新しい価値観やよりよい社会を創造する力を育むことができるように、４本の政策の柱を定めて取り組みを進めています。

第２節　岡谷市の動向

（１）これまでの計画の経緯

○平成２（1990）年度　岡谷市生涯学習推進基本構想　策定

生涯学習の推進を総合的施策として全庁的に取り組むとともに、市民一体となって進めるために策定

○平成３（1991）年度　岡谷市生涯学習推進基本計画　策定

- 計画期間　平成４（1992）年度～平成 11（1999）年度（８年）
- 基本理念　生涯学習による人づくり、まちづくり
- 基本目標　①生涯学習推進体制の確立　②学習機会の整備・充実
  ③学習の場の整備・充実　④指導者の充実
  ⑤学習情報提供・学習相談システムの整備

○平成 11（1999）年度　第２次岡谷市生涯学習推進計画　策定

- 計画期間　平成 12（2000）年度～平成 16（2004）年度（５年）
- 基本理念　生涯学習のまちづくりをめざして
- 基本目標　①学習機能の充実　②多様な学習活動の推進
  ③生涯学習推進体制の充実

○平成 16（2004）年度　第３次岡谷市生涯学習推進計画　策定

- 計画期間　平成 17（2005）年度～平成 21（2009）年度（５年）
- 基本理念　市民一人ひとりが心豊かに生きるために
- 基本目標　①学ぶ場の充実を　②活力ある日々を
  ③学びの手助けを

○平成 21（2009）年度　第４次岡谷市生涯学習推進計画　策定

- 計画期間　平成 22（2010）年度～平成 26（2014）年度（５年）
- 基本理念　生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち
- 基本目標　①生涯学習の推進　②文化・スポーツの振興
  ③国際理解の醸成

○平成 26（2014）年度　第５次岡谷市生涯学習推進計画　策定

- 計画期間　平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度（５年）
- 基本理念　生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち
- 基本目標　①生涯学習の推進　②文化・スポーツの振興
  ③国際理解の醸成

○令和元（2019）年度　第６次岡谷市生涯学習推進計画　策定

- 計画期間　令和２（2020）年度～令和６（2024）年度（５年）
- 基本理念　人生 100 年時代の生涯学習推進に向けて
- 基本目標　①自ら学ぶ　②地域で活かす
  ③未来へ紡ぐ

（２）岡谷市の動向

市民と行政との協働による活力あるまちづくりを推進するためには、生涯学習が重要な位置を占めています。「岡谷市市民総参加のまちづくり基本条例（平成 16 年 10 月条例第 20 号）」の中でも、「市民総参加のまちづくりの円滑な推進に資するため、生涯学習の機会を活用するよう努めるものとする」としています。

このことから生涯学習は、教育委員会の枠を越えて各部課等で幅広く推進していくものであり、市民生活に極めて深い関係にあると考えています。

本市では、平成２（1990）年度に「豊かな自然と調和した国際文化産業都市」をまちづくりの基調として「岡谷市生涯学習推進基本構想」を、平成３（1991）年度には「岡谷市生涯学習推進基本計画」を策定しました。以後の多様化する市民の要望に基づく学習や、市民総参加による新たな地域社会の創造を目指し、学習の支援を図る計画として位置づけてきました。

令和２（2020）年度からの「第６次岡谷市生涯学習推進計画」では、人生 100 年時代を心豊かに迎えるために、将来へ安定した生涯学習活動の基盤を築くことを目的として、「自ら学ぶ」「地域で活かす」「未来へ紡ぐ」の３つのキーワードを掲げて施策を実施してきました。

しかし、第６次計画の期間中には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、カルチャーセンターや公民館の講座への参加者や学習グループが減少したほか、図書館や美術考古館などの社会教育施設や文化施設の来館者が減少するなど、生涯学習活動が停滞、後退する動きがみられました。

今回本計画を策定するにあたり、第５次岡谷市総合計画や第３期岡谷市教育大綱との整合を図りつつ、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」や「はつらつ岡谷スポーツプラン」とともに、教育大綱の個別計画のひとつとして、これから目指す方向性を検討してきました。

地域と行政が一体となって生涯学習活動を進めるため、社会教育施設や文化施設とも連携を図りながら、「歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり」に向けて生涯学習を推進していきます。

第３節　第６次岡谷市生涯学習推進計画の検証と課題

第６次岡谷市生涯学習推進計画を重点項目ごとに検証し、今後の課題を明確にします。

（１）自ら学ぶ

①生涯学習の充実

カルチャーセンターや公民館などの社会教育施設を中心にライフステージに応じた各種講座を実施し、自主的な学習活動を推進する学習グループの育成に努めてきました。また、広報おかや、新聞、テレビ、市のホームページや SNS（LINE）などの様々な広報媒体を活用して情報発信にも努め、市民の学習意欲の啓発に取り組んできました。

●今後の課題

学習グループ参加者や講師の高齢化が進んだことに加えて、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の閉館や使用制限を行った影響により、学習グループ数や施設利用者数が減少し、現在もコロナ禍前の水準には戻っていません。このため、様々なニーズに対応した講座の実施に取組む必要があります。

②読書活動の充実

令和５（2023）年度に「第４次岡谷市子ども読書活動推進計画」が策定され、「読書を楽しみながら、豊かな感性を育み、生きるための力を高めることをめざします。」との基本目標のもと、子どもたちの読書習慣の定着に向けた取組を進めてきました。また、県内全市町村と県との協働による電子図書館「デジとしょ信州」の運用が令和４（2022）年８月に開始され、子どもだけではなく様々な年代の人々に対して読書活動の推進に努めてきました。

●今後の課題

未だ図書館を利用したことのない人が図書館に足を運んでいただけるように、「デジとしょ信州」の利用促進も含めて、さらなる広報・周知を行うとともに、多様な市民の学習ニーズに対応するための図書館職員のスキルアップを図る必要があります。

③環境整備と設備の充実

生涯学習活動の拠点であるとともに災害時の避難所でもある公民館について、安全・安心で快適な避難環境とするために、令和４（2022）年度に各部屋へのエアコン設置等の工事を行いました。また、Web 会議やオンライン講座などの ICT※を活用した生涯学習活動へのニーズが高まっていることを踏まえ、情報機器の導入を進めました。

●今後の課題

生涯学習の拠点として、また市民の避難所として、引き続き安全・安心な環境整備に努める必要があります。

※　：Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。

（２）地域で活かす

①地域との連携

講座を通じて岡谷についての学び直しを行うとともに、講師やボランティアガイドの育成に努めてきました。また、岡谷市社会福祉協議会との連携により、ボランティア育成の入り口となるような講座を実施しました。さらに、郷土学習館などのふるさとの学びを地域で進めている団体等に対して支援を行ってきました。

●今後の課題

生涯学習活動を行っていくためには、指導者やボランティアガイドの発掘・育成が必要不可欠であることから、人材育成と活用をさらに推し進めていく必要があります。

②家庭との連携

カルチャーセンターや公民館、子育て支援館などで、乳幼児を持つ親を対象とした講座や小学生を対象とした講座を実施するとともに、市内保育園、幼稚園、小学校において保護者を対象とした講座の開催を支援し、子どもの成長過程に応じた学習機会の充実に努めてきました。また、親子やあらゆる世代が交流することができる講座やサークルの育成、地域におけるサポーターの養成や、子育て中の親が一人で悩んだり過度のストレスを溜めたりせずに子育てを楽しめるように、親子や子どもを持つ親同士が交流できる場をつくってきました。

③学校との連携

地域に開かれた学校づくりに向け、長野県が推進する「信州型コミュニティスクール※1」をベースにして学校を軸に地域の人々とのつながりを創出するために、市内全校に「岡谷版コミュニティスクール※2」を設置しています。各校の通学路見守りや読み聞かせ等のボランティア、放課後子どもの居場所づくりに参画する地域住民等によりコミュニティスクール運営委員会を構成し、コーディネーターを設けて会議や交流等の活動を行ってきました。少子化や核家族化が進む社会の中で、子どもたちが地域の幅広い世代と交流することで人生経験を豊かにすることができると考え、子どもたちの成長と学びを地域と共有し、地域に支えられる学校づくりを進めてきました。

●今後の課題

文科系部活動の地域移行について、地域や学校、関係団体と連携して取り組む必要があります。

※１：「地域と共にある学校づくり」に向けて、地域・家庭・学校が連携して学校運営参画、協働活動、学校評価の３つの機能を一体的・持続的に実施する仕組み。

※２：地域に開かれた学校づくりに向け、長野県が推進する「信州型コミュニティスクール」をベースに、各校の特色あるボランティア活動等の横断的組織化を図り、学校を軸に地域の人々とのつながりを創出するため、市内全校に設置している。

（３）未来へ紡ぐ

①青少年活動の推進／②地域における健全な環境づくり

岡谷市子ども会育成連絡協議会をはじめ、岡谷市少年愛護協議会など青少年の健全育成にかかわる団体との協働で、「地域の子どもは地域で育てる」土壌づくりを進め、青少年活動の支援と非行防止活動に努めてきました。

●今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、野外活動や自然体験などの体験活動を行うことができなかったことから、岡谷市リーダーズ倶楽部をはじめとした異年齢の子ども同士で共に学ぶ実践活動の機会を充実させていく必要があります。

③文化施設の活用

シルクファクトおかやでは、「シルク岡谷」の歴史・文化を全国に発信するとともに、魅力ある企画展の開催や特色ある学習活動を推進し、新たなシルク文化を生み出す岡谷ブランドの発信拠点として活動してきました。

美術考古館は、令和５（2023）年度に移転開館 10 周年を迎え、郷土画家の美術展示や本市出土の考古資料の展示、館長によるワークショップなどの芸術文化の推進のほか、中心市街地の立地を活かして、まちの賑わいの創出や文化を核としたまちづくりにも努めてきました。

カノラホールでは、舞台芸術文化の拠点として様々な催しを開催し、優れた舞台芸術の鑑賞や市民の文化創造の場、また次世代を担う人材育成の場として地域文化の中心的な役割を果たしてきました。

イルフ童画館では、所蔵する武井武雄作品を中心に収集、調査・研究を進めるとともに、特色ある企画展やワークショップを開催し、童画のまちづくりに努めてきました。

●今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が半数ほどまで落ち込んでいることから、各施設で特色ある企画展などのイベントを通じて魅力を発信していく必要があります。

④文化芸術活動の推進と参加機会の充実

時代のニーズやライフステージに応じた講座を開催することにより、あらゆる年齢層の市民が気軽に文化活動に参加することができるような機会の充実に努めてきました。また、日頃の学びの成果を発表する場としてカルチャーセンターや公民館、カノラホールなどの公共施設を提供し、文化・芸術活動の活性化を図りました。

⑤文化財の保護・活用

郷土の歴史や文化財の調査、収集、保存に努めるとともに、これまで収集、保管してきた民俗資料や考古資料などの公開を行い、市民がふるさとの歴史やくらしを学ぶための資料として提供してきました。

●今後の課題

これまでに収集した多くの考古資料などを、引き続き公開、発信していく必要があります。

第３章　基本目標と施策展開

第１節　基本目標１　様々な学びの形づくり

目指す４年後の姿

○カルチャーセンター、公民館、美術考古館、シルクファクトおかや、イルフ童画館で講座やイベントが充実し、若者から高齢者まで幅広く学習活動の場に参加しています

○読書習慣の醸成と定着を図りつつ、幅広いニーズに対応した図書館活動が充実します

○美術考古館、シルクファクトおかや、カノラホール、イルフ童画館でのイベントを通し、文化や芸術活動に参加する機会が充実します

施策１　生涯学習の充実

細施策１　生涯学習機会の充実

生涯学習は、一人ひとりが豊かな人生を送ることができるように、個人が自発的に行うことを基本として生涯を通じて行うものです。教養を高め、多様な人々と出会い、自己実現を図るために、ライフステージ（乳幼児から高齢者まで）やニーズ、時代に対応した講座を実施することに努めます。

細施策２　情報提供の充実

各種学級・講座の開催情報や学習グループの活動内容、社会教育施設の情報などを、広報誌やホームページ、シルキーチャンネル、新聞、SNS などの様々な媒体を活用して、あらゆる年代の市民の目に留まるように積極的な情報発信に努めます。

細施策３　生涯学習施設の活用と設備の充実

カルチャーセンターや公民館、図書館、博物館は生涯学習の拠点であり、市民の交流の場や地域コミュニティの形成の場としても重要な役割を期待されています。市民のニーズに応じた運営を行うとともに、デジタル社会に対応した環境の充実に努めます。また、カルチャーセンターや公民館は避難所に指定されており、これらの施設は地域の防災拠点としての役割も担っているため、安全・安心な環境整備に努めます。

細施策４　障がい者の生涯学習推進

誰もが障がいの有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を実現するとともに、障がいのある人が生涯にわたり自らの可能性を追求でき、地域の一員として豊かな人生を送ることができる環境を整えるため、学びの場や機会の提供に努めます。

また、障がい者が鑑賞、創造、発表などの文化芸術活動に参加することができる環境づくりに努めるとともに、社会教育施設や文化施設で障がい者の芸術作品が展示できるように取組を進めます。

子育て応援講座

キッズチャレンジ（子ども向け講座）

施策２　読書活動の充実

細施策１　読書の推進

図書館が地域の知の拠点として市民にとって利用しやすく、身近な施設となるための環境整備に努めるとともに、図書館の機能やサービスを一層充実させて、子どもだけではなく大人の読書活動の推進に努めます。また、読書に関する興味や関心を高めるための情報提供を行い、図書館を利用したことのない人への利用促進を図ります。

細施策２　子ども読書活動推進計画の推進

読書を楽しみながら、豊かな感性を育み、生きるための力を高めることを目指して、令和５（2023）年度に策定した「第４次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書習慣の定着のため、成長段階に合わせた読書活動への取組を行い、家庭での読書の大切さや本を読む楽しさを伝えていきます。

細施策３　デジとしょ信州の活用

令和４（2022）年８月から運用が開始された、市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」について、登録者を増やすための情報発信に努めます。また、子どもたちが調べ学習や朝読書などで電子書籍を利用できる環境を整えるとともに、「デジとしょ信州」を実際に体験してもらうことで、利用の促進に努めます。

また、スマートフォンやタブレットで自動読み上げされる電子書籍が利用できる、視覚障がい者専用電子図書館「アクセシブルライブラリー」の利用推進に努めます。

おはなしの森

デジとしょ信州

施策３　文化施設の活用

細施策１　美術考古館の活用

地域の特性を活かした芸術作品や文化財資料の収集や保存、調査研究により質の高い様々な展覧会を開催するとともに、魅力あるイベントを実施し、子どもから大人まで幅広く文化・芸術に接する機会の充実を図ります。また、中心市街地の立地を活かし、まちの賑わいの創出や文化を核としたまちづくりを推進します。

細施策２　シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）の活用

養蚕、製糸業により育まれた文化、歴史、先人の偉業を全国に発信し、後世に伝えるため、製糸機械類を中心とした常設展示や稼働中の製糸工場を見ることができる動態展示など、施設の特徴を活かした展示の充実に努めます。また、魅力ある企画展やワークショップ、体験講座の開催、特色ある学習活動を通じて新たなシルク文化を発信し、シルクのまちづくりを推進します。

細施策３　カノラホール（岡谷市文化会館）の活用

舞台芸術文化の拠点として、オペラやバレエ、オーケストラなどの優れた舞台芸術作品を鑑賞する機会の充実を図るとともに、特色ある芸術作品の企画や制作などを推進します。そのほか、次代を担う人材やリーダーの育成、市民参加型事業の推進により、市民の芸術文化活動の活性化を図ります。

細施策４　イルフ童画館（日本童画美術館）の活用

岡谷が生んだ童画家である武井武雄作品を中心に、企画展や特色あるワークショップを開催し、市民が優れた芸術作品に触れる機会を創出するとともに、武井武雄が生んだ童画文化の調査、研究を進めます。また、次代を担う若手童画家の発掘と支援、育成のため、日本童画大賞を開催するなど童画のまちづくりを推進します。

イルフ童画館ワークショップ

施策４　機会の充実と活性化

細施策１　参加機会の充実

各施設がそれぞれの特性を活かしながら連携し、各種講座の開設や学習情報の提供を進め、様々な年齢層の市民がいつでも気軽に文化活動に参加することができるような機会の充実に努めます。

細施策２　文化・芸術活動の活性化

個人や学習グループの日頃の活動成果を発表する場として各施設を提供し、文化・芸術活動の活性化を図ります。また、子どもたちの豊かな心の育成を図るため、一流の文化芸術に触れる機会や、地域において伝統文化等を体験する機会の充実に努めます。

岡谷市文化祭作品展

ホリデイスクエア（利用者発表会）

第２節　基本目標２ 誰もが学び合える地域づくり

目指す４年後の姿

○自らの学びを地域で活かし、地域の学びや活動に参加することで、地域力が高まり、地域・家庭・学校の連携が充実します

○地域に親同士の交流の場が増え、子育てや家庭教育に関する情報や機会がより充実します

○地域・家庭・学校の連携が深まることで、若い世代をはじめ、全市民に助け合うボランティア活動が広がります

施策１　地域との連携

細施策１　地域力による子育て支援

地域住民が自立・協働して、各地域における課題を解決したり地域の価値を創造したりする力である「地域力」を高めるために、異なる年代や多様な人々が交流し、学び合う場の提供に努めます。また、「地域の子は、地域で育てる」ことを原点として、高められた「地域力」による子育ての充実に努めます。

細施策２　ボランティア意識の醸成

ボランティア活動は、自らを高め心豊かにする活動であり、地域においてともに助け合って生きる社会を支える重要な位置づけにあります。学習活動の成果を個人だけにとどめず、社会に還元する活動を広げるために、社会貢献活動を推進するための講座の開催や意識啓発を行うなど、岡谷市社会福祉協議会との連携により、様々な世代でボランティア活動を通して地域に貢献する意識の醸成を図ります。

施策２　家庭との連携

細施策１　家庭教育への支援

子どもが人間性豊かに育つことができるよう、子どもの成長過程に応じた子育てや家庭教育に関する学習機会の充実と、おかや子育て憲章を具現化した「成長樹（期）子育て実践ポイント」などを利用して情報提供の推進を図ります。

細施策２　親子のふれあい機会の充実

親子が楽しみながら学び、ふれあえる講座の開催や、親子での読書会や遊び、スポーツなどのふれあいを通して親子の絆を深め、また、思いやる心を育てるよう努めます。

細施策３　子育て中の親同士の交流の場づくり

子どもを育てるうえで不安を感じたり、身近に相談相手がいない状況にある親が子育ての知識を得ることができるように、地域の協働を得ながら子育てを支援する講座等を開催します。また、子育て中の親が、ひとりで子どもの発達について悩んだり過度のストレスを溜めたりせず、楽しんで子育てをすることができるように、地域で親子が交流できる場をつくります。

施策３　学校との連携

細施策１　地域・学校協働活動の充実

地域、家庭、学校が連携・協働することにより、地域社会との様々な関わりを通じて子どもたちが安心して活動できる居場所づくりや、地域全体で子どもを育む環境の整備に努めます。また、地域や学校、文化芸術に関係する団体等と連携して部活動の地域移行に取り組みます。

成長樹(期)子育て実践ポイント

第３節　基本目標３ 未来につながる学びづくり

目指す４年後の姿

○地域の活動や体験学習を通して、人間性や社会性が育まれ、未来のリーダーが育ってきています

○「超スマート社会」の到来による、インターネットや SNS などの新たな課題から青少年を社会全体で守る機運が向上します

○近代化産業遺産群をはじめ、これまで収集、保管をしてきた民俗資料や考古資料を公開し、また、活用することにより、ふるさとを愛し地域力を育む学習活動が充実します

施策１　青少年活動の推進

細施策１　体験活動の場の充実

カルチャーセンターを青少年活動の拠点として活用しながら、塩嶺野外活動センターなどを利用して、コロナ禍により機会が減少した野外活動、自然体験などの体験活動を推進します。

細施策２　社会参加の促進

人間性や社会性を育むため、地域の行事やボランティア活動などへの青少年の自主的、自発的な参加を促進します。

細施策３　青少年リーダーの育成

地域活動における指導者として、ふさわしい資質の向上を図るための養成を支援します。特に岡谷市リーダーズ倶楽部は、異年齢の子ども同士が共に学ぶ実践活動を行うことにより、学びの循環と新しいリーダーの育成が促進されることから、倶楽部に所属する生徒に対する研修の実施や、活動に対して興味を持ってもらえるようなイベントの開催を推進します。

施策２　健全な環境づくり

細施策１　非行防止活動の推進と環境づくり

家庭や学校教育現場、地域社会、育成団体及び関係機関が一体となって、児童・生徒の校外生活における問題行動の早期発見と非行の未然防止に努め、育成啓発活動を推進します。

細施策２　メディアリテラシー教育※1の推進

スマートフォンなどの情報端末機器の普及と利用の低年齢化に伴い、SNS などによるトラブルや犯罪被害、長時間利用による生活リズムの乱れなどを防ぐため、青少年や保護者に対するメディアリテラシーの育成に努めます。また、デジタル社会の到来に伴い、デジタルシティズンシップ教育※2の充実を図ります。

細施策３　子育て関係団体との連携

地域で活動する子育て支援や青少年育成に関わる団体などとの情報共有や、研修、交流の場づくりに努め、社会全体で青少年を支援していく機運の醸成に努めます。

※１：インターネットやテレビ、新聞などのメディアを使いこなし、メディアの伝える情報を理解するための教育。また、メディアからの情報を見極める力を養うための教育。
※２：子どもたちが、デジタル社会の一員として、よりよく生きていくための資質・能力を身に付けるための教育。

夏休み子ども交流事業
（東伊豆町との交流）

街頭啓発活動

施策３　人材育成と活用

細施策１　講座等講師、学習グループ指導者の育成

地域における卓越した人材に生涯学習活用の場において講師や指導者として参画してもらい、自らの学びの成果を還元してもらうため、人材の発掘と講師・指導者の育成、ボランティア活動などの生涯学習活動を支援します。

細施策２　ボランティアガイドの育成

人生 100 年時代を心豊かに送るため、岡谷の歴史や文化の学び直しを行うとともに、学んだことを地域へ還元し、将来へ紡いでもらうために、「岡谷学」※1や「コレカラ岡谷」※2などの講座を実施し、ボランティアガイドの育成を図ります。

細施策３　地域リーダーの育成

生涯学習の成果を地域に還元し、地域づくりに活かすために、地域で生涯学習を推進するリーダーの育成に努めます。特に、郷土学習館などの「ふるさとの学び」を地域で進めている団体等の活動を支援します。

※１：初心者から岡谷のことを深く探求したい人まで、広く岡谷のことを知ってもらうための座学を中心とした講座。

※２：岡谷学からさらに一歩踏み込み、現地学習や実体験を通じて岡谷のことを学ぶとともに、ボランティアガイドや講座講師など多様な形で岡谷について語ることができる人材を育てるための講座。

コレカラ岡谷

郷土学習館

施策４　文化財の保護・活用

細施策１　文化財の保存・活用

郷土の歴史資料や考古資料の調査、収集、保存に努めるとともに、旧林家住宅や旧渡辺家住宅、旧山一林組製糸事務所などの文化財については、積極的な情報発信と施設を活用した地域活性化に向けた取組を推進します。

細施策２　製糸関連遺構の保護・活用

本市発展の基礎となり日本の近代化を導き、近代化産業遺産群に認定された製糸関連遺構をはじめとしたシルクおかやを形作る施設について、生涯学習やまちづくりに資するよう保護に努め、市民がふるさとの歴史や産業を学ぶ資料となるように活用します。

細施策３　寄贈・収集された作品や資料の保存・活用

美術考古館やシルクファクトおかや、イルフ童画館に寄贈され、または各館が収集した郷土にゆかりのある作品や資料については、調査、研究、保存に努めるとともに、展示公開をすることにより広く市民が歴史や文化芸術を学べるように活用します。

細施策４　新たな岡谷市史の編さん

昭和 57（1982）年に下巻が発行された岡谷市史の続編として、令和８（2026）年（岡谷市制施行 90 周年）までの約 50 年間を収録範囲とする新たな市史を発刊するために、資料の収集や整理に注力するとともに、市民から構成される市史編さん委員会を設置し、市史の編さんを進めます。

顔面把手付深鉢形土器
（榎垣外遺跡出土）

イルフ童画館
余技作品展示室

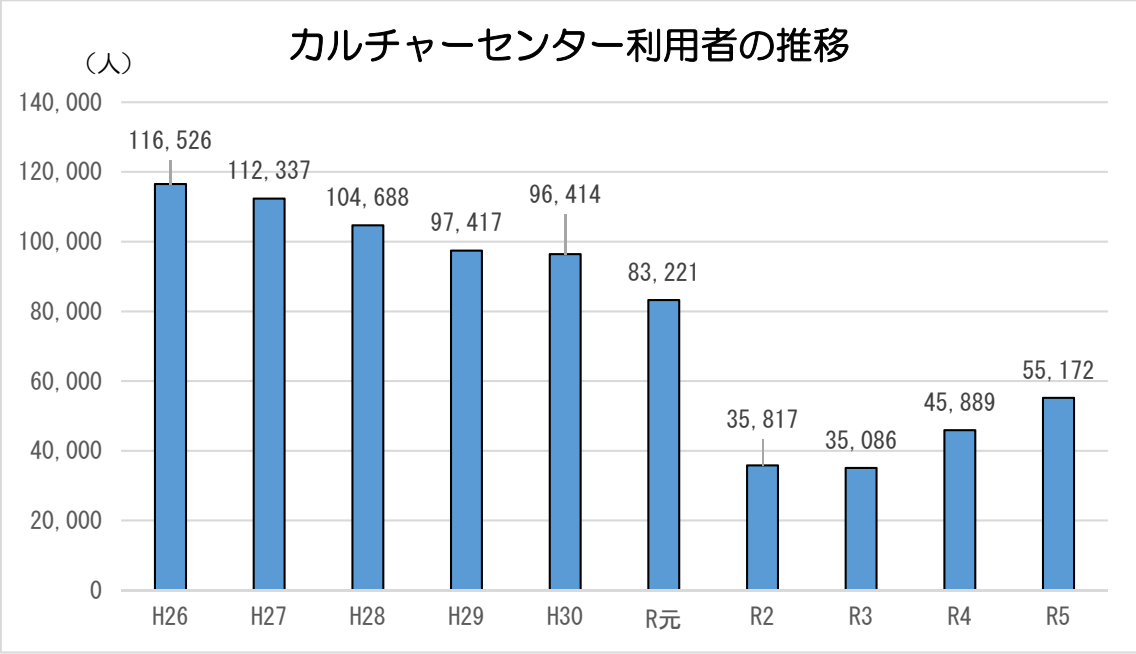
【資料編】

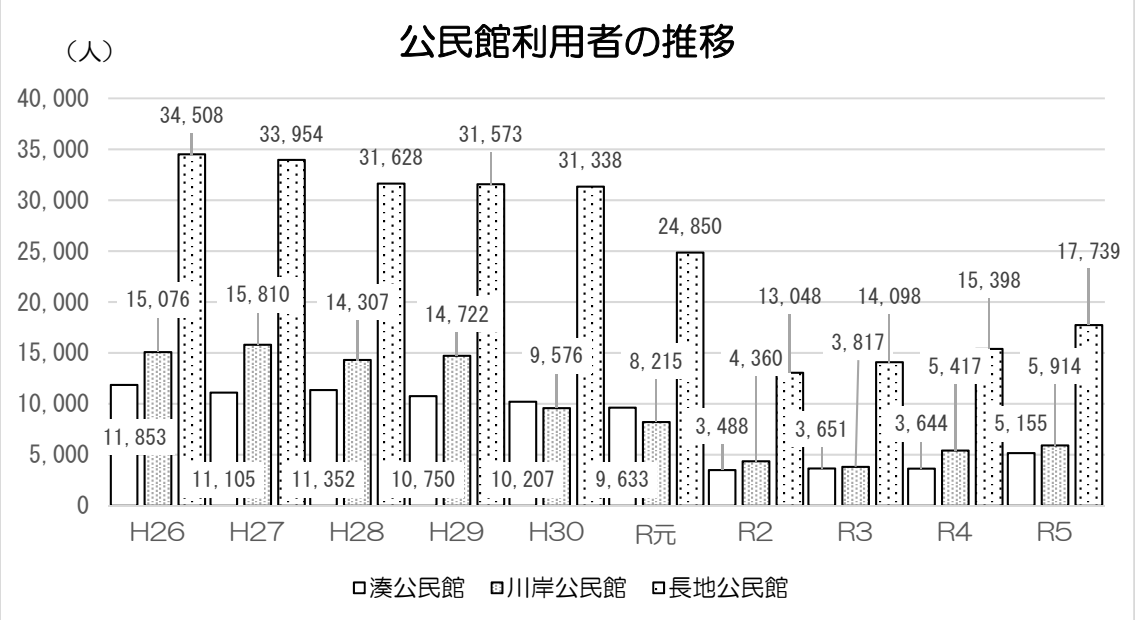
武井武雄「ことりのくに」

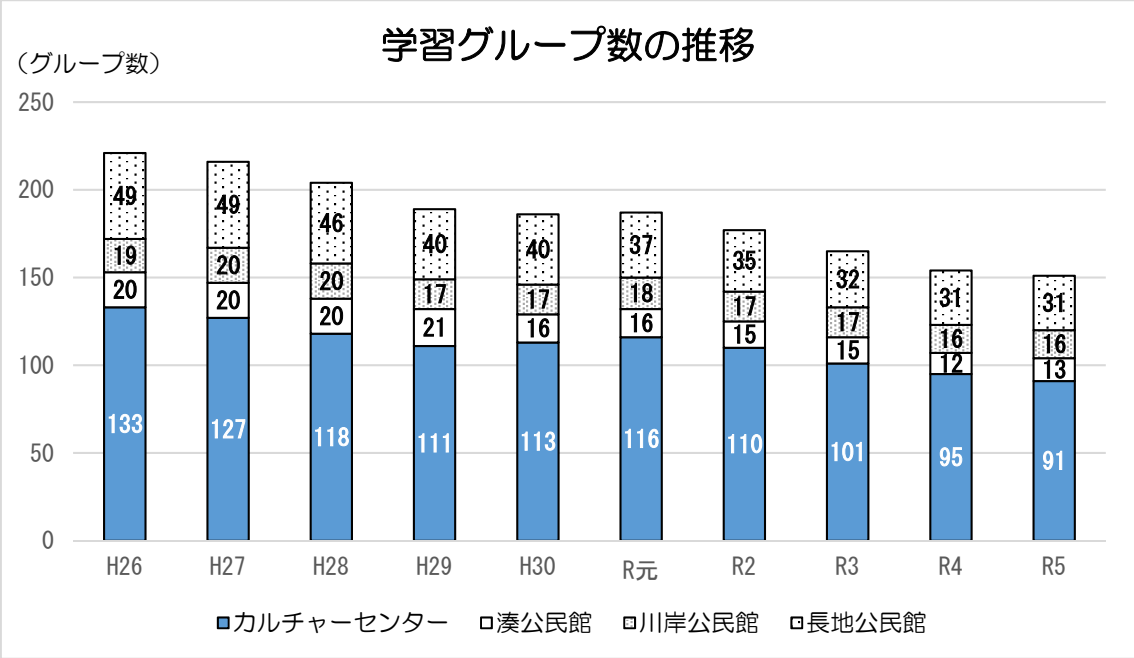
1　生涯学習関連施設の利用状況

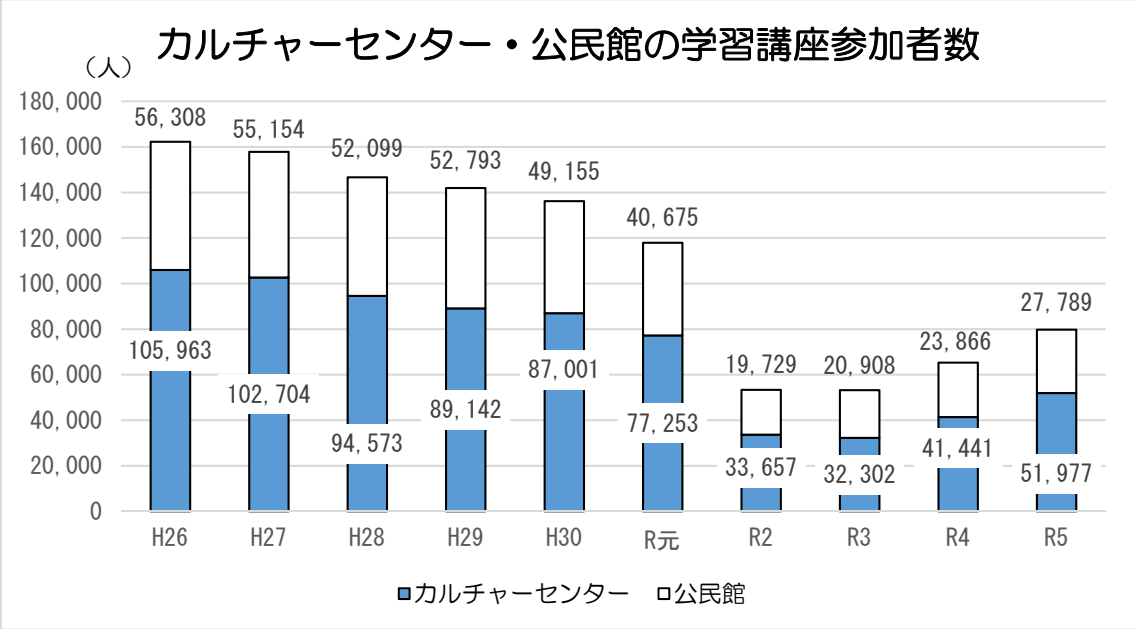
（1）カルチャーセンター・公民館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設の閉鎖や使用制限を行ったこと（令和２年～令和４年）や、学習グループの講師・参加者の高齢化によるグループ数の減少や活動の縮小の影響で、利用人員は減少傾向にあります。







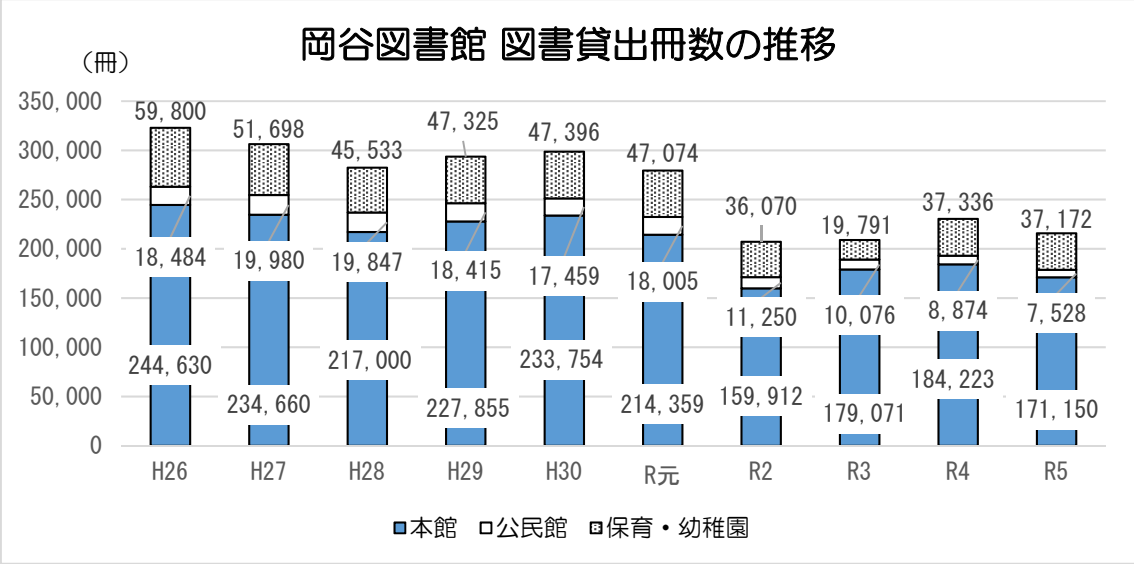


※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI

学習講座の参加者数　令和 10（2028）年度　141,000 人

（2）岡谷図書館

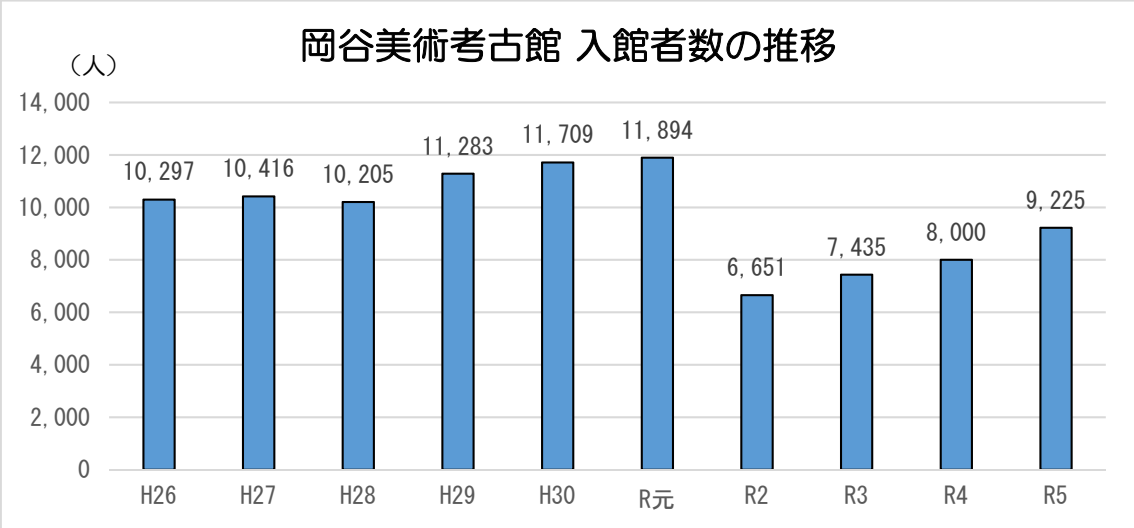
インターネット、スマートフォン、電子書籍等の IT 機器の普及により、本離れ（活字離れ）の傾向にあります。



※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI
図書の貸し出し冊数　令和 10（2028）年度　250,000 冊

（3）岡谷美術考古館

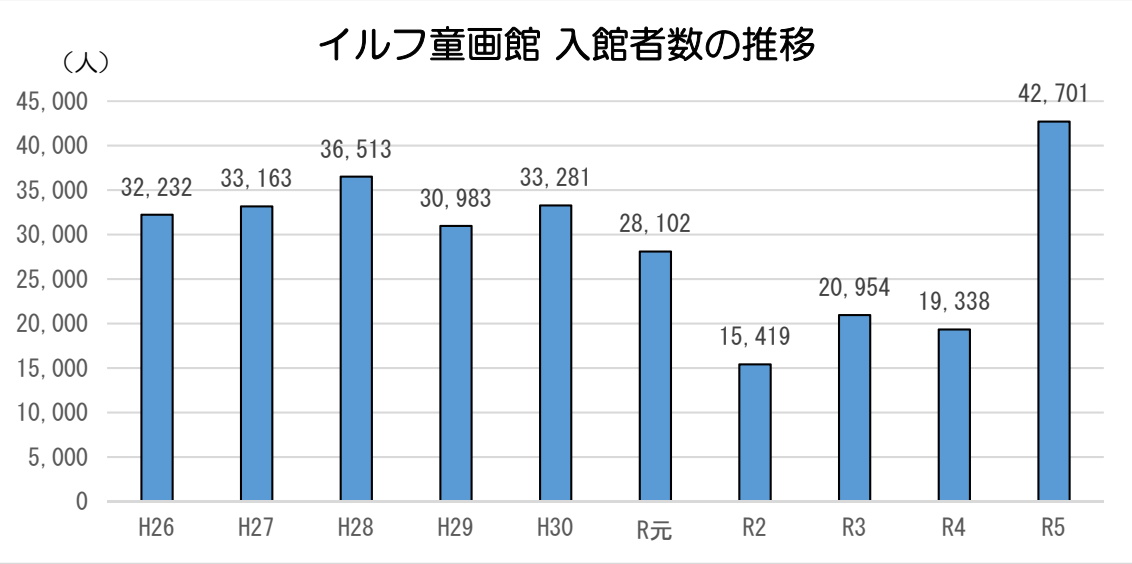
平成 25（2013）年 11 月のリニューアルオープン以来、入館者数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一時半数近くまで落ち込みました。



※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI
施設入場者数　令和 10（2028）年度　12,000 人

（4）イルフ童画館（日本童画美術館）

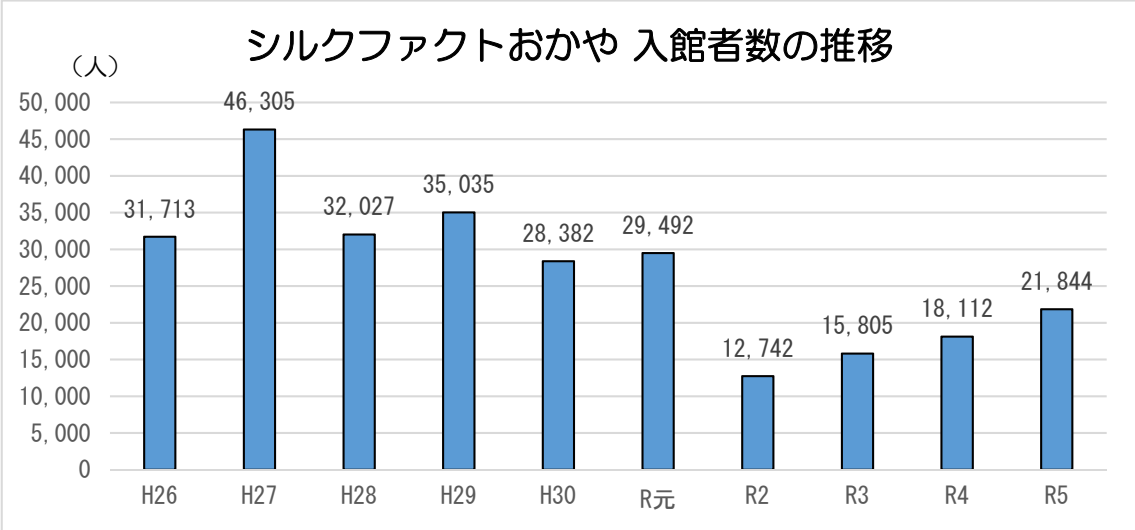
新型コロナウイルス感染症の影響により一時入館者数が半数以下にまで落ち込みましたが、制限解除後はコロナ禍前以上に増加しました。



※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI
施設入場者数　令和 10（2028）年度　35,000 人

（5）シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）

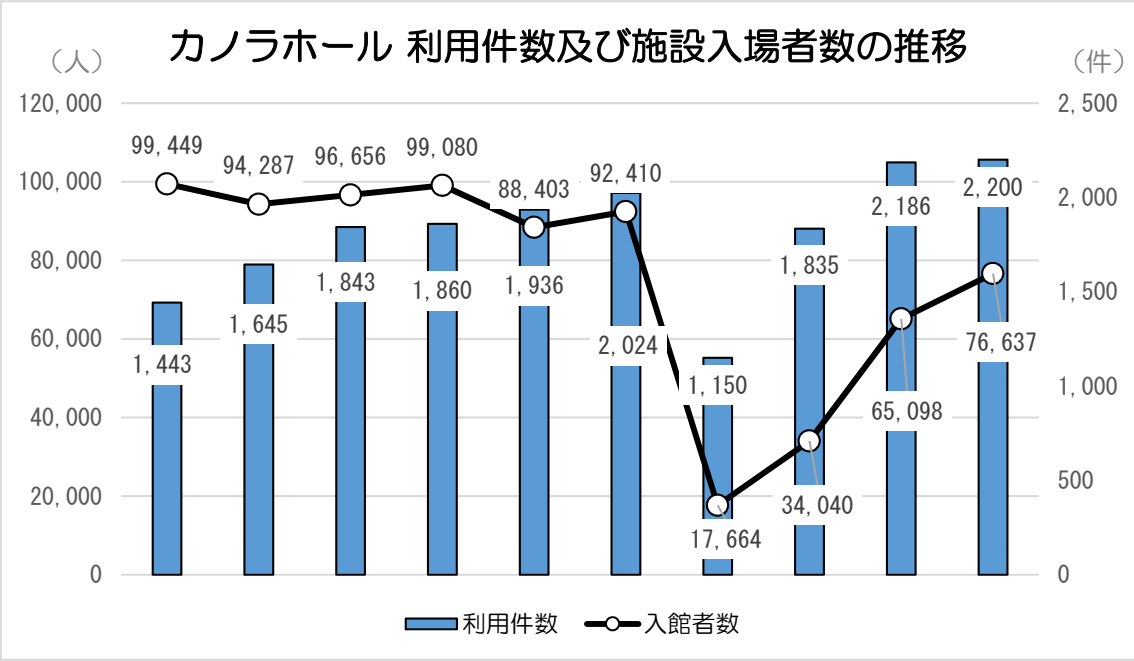
平成 26（2014）年８月のリニューアルオープン以来、入館者数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり一時半数近くまで落ち込みました。



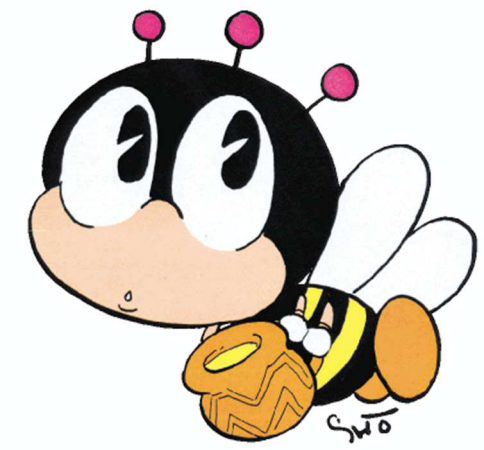
※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI
施設入場者数　令和 10（2028）年度　39,000 人

（6）カノラホール（岡谷市文化会館）

利用件数・入館者数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一時半数近くまで落ち込みました。



※第５次岡谷市総合計画 後期基本計画 KPI
施設入場者数　令和 10（2028）年度　107,000 人



2　各種団体からの意見・要望（抜粋）

計画策定にあたり、社会教育関係団体や文化・芸術に関する学習グループ・団体などから、ご意見・ご要望を頂戴しました。

（1）生涯学習活動における問題点や課題について

・学習グループ会員の高齢化で会員数が減少しており、いつまで続けられるか不安。

・学習グループの会員が増えず、メンバーが固定化してしまっている。

・学習グループ会員が減り、維持するための経費が不足気味となっている。

・学習グループに新しい会員が入ってこない。若い世代の人が入ってきても、１～２年で辞めてしまったり、仕事の都合で欠席が続いてしまったりする。

・学習グループ会員の平均年齢が高くなり、会場に来る手段に苦慮している。

（2）新しい生涯学習推進計画の策定に向けての方向性

・高齢者が自宅に籠らないように、気楽に楽しめる講座が必要。

・若い方が興味を持って活動に加わっていけるように工夫してほしい。

・SNS を利用して活動内容や作品を紹介し、学習グループ活動に参加してもらえるようになればよい。

・高齢者と若年者の交流の機会を設けてほしい。

・もっと社会教育施設を利用したいが、会場までの足の確保がままならないので、シルキーバス路線の検討や福祉タクシーをもっと多くの高齢者が活用できるように改善してほしい。

・男性のみの運動講座を開催してほしい。

・色々な体験講座を企画してほしい。

・カルチャーセンターを社会教育機関である「岡谷市公民館」として復活させ、社会教育主事の資格を持った職員が長期勤務できるように図ってほしい。

・文化的な都市づくりを構築していくうえで、年に数回要望の多い美術館や文化施設の見学を取り入れてほしい。

・学習グループ活動費を一部負担してほしい。

・保護者が安心して子育てに取り組めるための学習の場を作ってほしい。

（３）生涯学習・文化施設（カルチャーセンター・公民館・図書館・カノラホール・イルフ童画館）についての希望や意見

【カルチャーセンターへの要望に関すること】

- 冷暖房を各部屋でコントロールできるようにしてほしい。
- 隣室の話し声で当室の話し声が聞こえづらいことがある。
- 部屋の予約を１か月まとめて取れるようにしてほしい。
- 展示設備が老朽化しているので、安全性の高い設備への入れ替えをしてほしい。
- カルチャーセンターの利用料がこのまま維持されるとありがたい。
- 駐車場が遠く、整然としていない。

【公民館全般への要望に関すること】

- 使用料にバラつきがある。勉強のために借りているので、各公民館で統一はできないのか。
- 築年数が古い施設であるのは致し方ないが、照明がもう少し明るいとよい。

【図書館への要望に関すること】

- 図書館はもう少し明るく、広くなればと思います。広場も広くなれば様々な交流の場になると思います。
- 他の市町村に比べて、暗くて行きづらいと思いました。
- 図書を閲覧できる場所を増やしていただければと思います。
- 図書館を週２回利用しているが、「このような難しい本をどれほどの人が読んでいるのだろう？」と疑問に思う。子ども向けの本にも同じように感じます。

【カノラホールへの要望に関すること】

- 使用料が半日単位であるため、金額が高く利用できません。１時間単位で使用できると金額が抑えられ使いやすくなると思います。
- 「予約を取り、行って見たい」と思うような、手ごろな価格のものを企画してほしい。
- カルチャーセンター、公民館、体育館の使用料減免を受けていますが、カノラホール使用についても使用料の減免をお願いしたい。

【イルフ童画館への要望に関すること】

- 他県の美術館に行ったときに、65 歳以上の方は無料でありとても嬉しかった。イルフ童画館も、武井武雄さんの素晴らしい童画を 65 歳以上の人に無料で見てもらったらどうでしょうか。
- 童画館の活動が、子ども世帯や一般市民に溶け込めず残念。「子ども主体」に各施設が連携する活動を期待したい。

【その他】

・岡谷駅前に集客ができる、市民が交流できるような場所を作ってほしい。

（4）その他

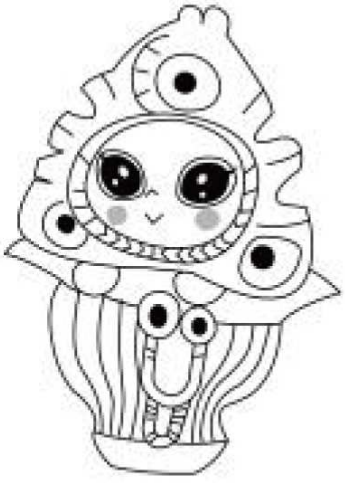
・SNS や Web サイトなどで、積極的に学習グループの PR をして、会員増につなげた方が良いと思います。

・多種多様な体験講座を企画してほしい。そこから生涯学習グループが生まれ、各施設が活性化し、岡谷市の発展にもつながると思います。

・学習グループ独自のイベントには、積極的支援・後援・広報等に協力していただきたい。

・学習グループの活動等を定期的に広報おかやに載せていただきたい。

・短期または単発で受講できる講座が徒歩で通える場所で開催されれば、家に引きこもりがちな方も気軽に外出できると思います。



３　生涯学習推進に関連する他の計画（抜粋）

岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン

（令和元（2019）年度～令和 10（2028）年度）

重点目標２　「ふるさと学習」の推進と地域に開かれた学校づくり

主な関連施策　岡谷版コミュニティスクールの充実
地域人材、ボランティアの学校参画
地域活動、社会活動への参加
地域との交流による学びの充実
家庭学習の充実
親支援と家庭教育力の向上

はつらつ岡谷スポーツプラン（令和７（2025）年度～令和 10（2028）年度）

基本目標１　市民ひとり１スポーツの実現

主な関連施策　地域活性化につながるスポーツの推進

基本目標３　子どものスポーツ機会の充実

主な関連施策　親子参加型スポーツ体験の充実

岡谷市こども計画（令和７（2025）年度～令和 11（2029）年度）

基本目標Ⅱ　ライフステージに応じた切れ目ない支援を強化する

主な関連施策　学童期から思春期における支援
思春期から青年期における支援
健やかで豊かな成長のための支援

基本目標Ⅲ　地域社会全体でこどもを育てる「こどもまんなか社会」を実現する

主な関連施策　地域全体による子育て支援

第３次岡谷市健康増進計画（岡谷市食育推進計画・岡谷市自殺対策計画）

（令和６（2024）年度～令和 10（2028）年度）

重点分野　休養・こころの健康（岡谷市健康増進計画）

主な関連施策　こころの健康に関する教育や困ったときに他者へ相談できる力をつける教育の提供

重点分野　食で心を紡ぐ（岡谷市食育推進計画）

主な関連施策　食育への関心が高まるような ICT を活用した食育情報の普及啓発

重点分野　高齢者への対策（岡谷市自殺対策計画）

主な関連施策　生きがいづくりと社会参加の推進

第４次岡谷市地域福祉計画（令和３（2021）年度～令和８（2026）年度）

基本目標１　“支えあいがつながる”地域づくりの推進

主な関連施策　福祉教育の推進

ボランティア活動等への支援

基本目標３　“参加・協働をひろげる”仕組みづくりの推進

主な関連施策　地域活動へのきっかけづくり

第 10 次岡谷市高齢者福祉計画（令和６（2024）年度～令和８（2026）年度）

基本目標１　生きがいを持ち活躍できるまち（地域）づくり

主な関連施策　生きがいづくりの推進

社会参画の促進

第５次岡谷市障がい者福祉計画（令和３（2021）年度～令和８（2026）年度）

基本目標１　共生のまちづくりの推進

主な関連施策　ボランティア活動への支援

家庭や地域における福祉学習の推進

基本目標３　自立支援と社会参加の促進

主な関連施策　芸術文化活動への参加促進

男女共同参画おかやプランⅦ（令和７（2025）年度～令和 11（2029）年度）

基本目標１　男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

主な関連施策　固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発

家庭・地域・職場における男女共同参画の学習機会の提供

多文化共生社会の推進

基本目標２　あらゆる分野において男女がともに活躍できる環境づくり

主な関連施策　ワーク・ライフ・バランスの推進

基本目標３　誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり

主な関連施策　若年層に対する予防啓発の推進

岡谷市工業活性化計画（令和６（2024）年度～令和 10（2028）年度）

基本戦略１　ものづくり基盤整備

主な関連施策　子どもの頃からのものづくり意識啓発の推進

基本戦略４　人材獲得・確保・育成支援

主な関連施策　ものづくり人材の育成と技術承継支援

第５次岡谷市環境基本計画（令和７（2025）年度～令和 12（2030）年度）

基本目標４　誰もが環境保全活動に参加したくなるまち《参加と共同》

主な関連施策　環境教育・学習の推進

岡谷市ＩＣＴ利活用推進ビジョン（令和元（2019）年度～令和 10（2028）年度）

基本方針２　ICT で情報の見える化・地域情報化

主な関連施策　行政情報発信の充実

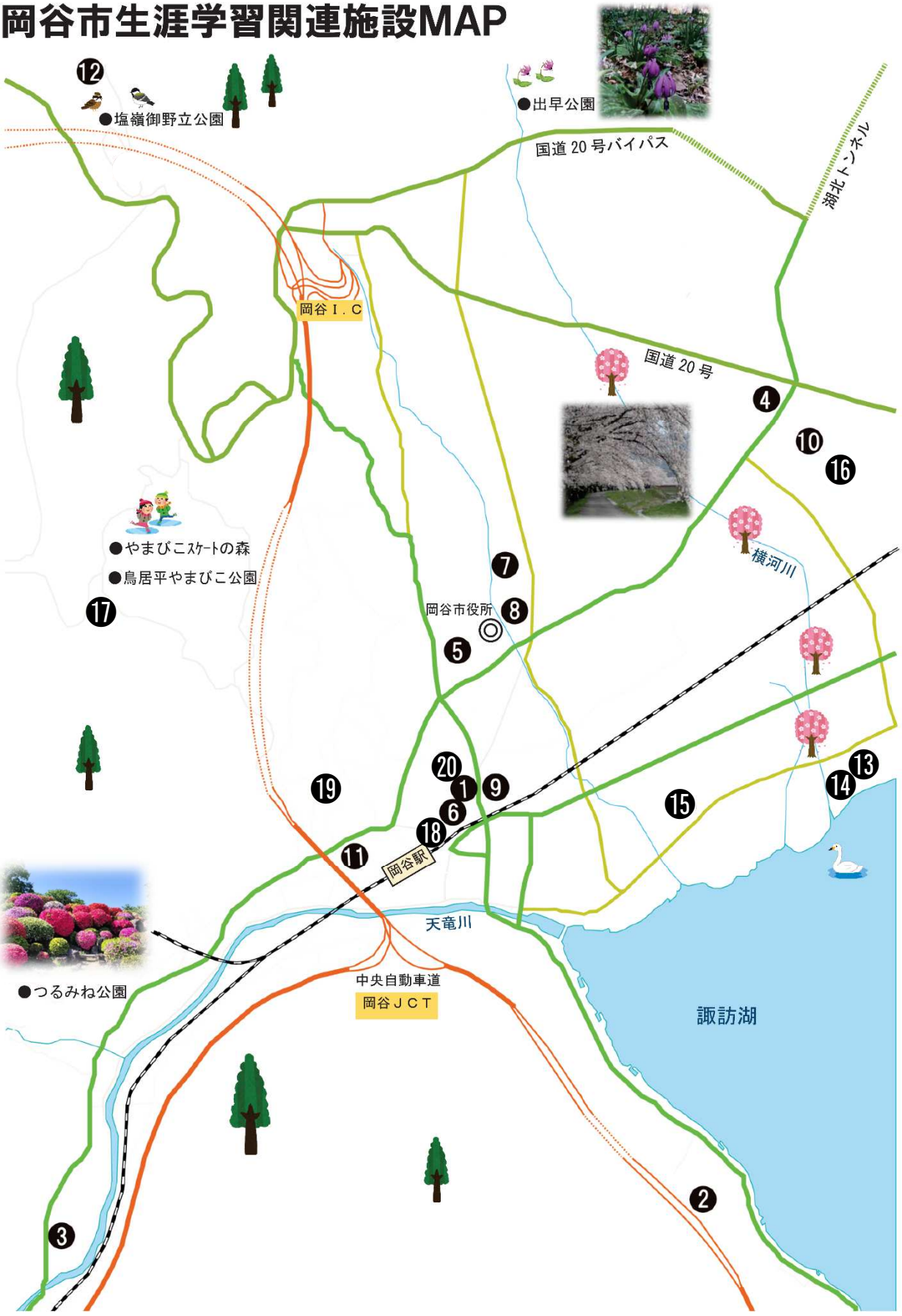
市民参加型の ICT 活用

岡谷市地域防災計画（令和６（2024）年修正）

風水害対策編・震災対策編　第１章災害予防計画

主な関連施策　防災知識普及計画

岡谷市生涯学習関連施設MAP



	名　　称	所在地	電話	掲載ページ
❶	カルチャーセンター（生涯学習館）	岡谷市中央町 1-11-1 イルフプラザ内	24-8401	40
	こどものくに（子育て支援館）		24-8403	
❷	湊公民館	岡谷市湊 3-8-6	22-2300	
❸	川岸公民館	岡谷市川岸中 3-1-29	23-2200	
❹	長地公民館	岡谷市長地柴宮 2-15-26	27-8080	
❺	岡谷図書館	岡谷市本町 4-1-39	22-2031	41
❻	岡谷美術考古館	岡谷市中央町 1-9-8	22-5854	
❼	シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）	岡谷市郷田 1-4-8	23-3489	
❽	カノラホール（岡谷市文化会館）	岡谷市幸町 8-1	24-1300	
❾	イルフ童画館（日本童画美術館）	岡谷市中央町 2-2-1	24-3319	42
❿	旧渡辺家住宅	岡谷市長地柴宮 3-8-40	26-7545 （郷土学習館）	
⓫	旧林家住宅	岡谷市御倉町 2-20	22-2330	
⓬	塩嶺野外活動センター	岡谷市 10016-1	23-8028	
⓭	長野県諏訪湖環境研究センター	岡谷市長地権現町 4-11-51	78-0151	43
	あいとぴあ（長野県男女共同参画センター）		22-5781	
⓮	諏訪湖ハイツ(おかや総合福祉センター)	岡谷市長地権現町 4-11-50	24-2290	
⓯	わーくピア岡谷 （岡谷市勤労青少年ホーム・岡谷市勤労会館）	岡谷市田中町 3-7-28	23-2201	
⓰	郷土学習館	岡谷市長地柴宮 3-9-3	26-7545	44
⓱	eco ポッポ（諏訪湖周クリーンセンター）	岡谷市字内山 4769-14	78-1090	
⓲	テクノプラザおかや	岡谷市本町 1-1-1	21-7000	
⓳	岡谷太鼓道場	岡谷市成田町 1-8-25	22-6663	45
⓴	旧山一林組製糸事務所	岡谷市中央町 1-13-17	22-2245	

○生涯学習施設一覧

❶　カルチャーセンター（生涯学習館）

乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設。各種講座の開催や、学習の場として部屋を貸し出している。

【開館・利用時間】9：00～21：30
【休館日】毎月第 2 火曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-24-8401

こどものくに（子育て支援館）

０歳児から年少入園前までの子どもと家族が利用するための施設。遊び場の提供や専門スタッフによる子育て支援相談などを実施するとともに、親同士の交流の場としても利用されている。

【開館・利用時間】9：30～17：30
【休館日】毎月第 2 火曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-24-8403

❷　湊公民館
❸　川岸公民館
❹　長地公民館

岡谷市湊公民館

乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための各地域密着型の施設。各種講座の開催や、学習の場として部屋を貸し出している。

岡谷市川岸公民館

【開館・利用時間】8：30～21：30
（土・日曜日は 17：00 まで）
【休館日】祝日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】岡谷市湊公民館：0266-22-2300
岡谷市川岸公民館：0266-23-2200
岡谷市長地公民館：0266-27-8080

岡谷市長地公民館

❺　岡谷図書館

諏訪地域図書館情報ネットワークシステムを活用する等、他機関との連携を密にしながら、市民の生涯学習の拠点としての図書館サービスの向上に努めている。

【開館・利用時間】9：30～18：30
【休館日】月曜日・休日の翌日・12 月 28 日～1 月 3 日
【電話】0266-22-2031

❻　岡谷美術考古館

絵画、彫刻、工芸、書など郷土の優れた美術作品と、市内遺跡から発掘された縄文時代から平安時代までの豊富な土器・石器類を展示している。

【開館・利用時間】10：00～18：00
【休館日】水曜日・祝日の翌日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-22-5854

❼　シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）

シルク岡谷の蚕糸機械器具や関係資料を展示している。また、館内に株式会社宮坂製糸所を併設している。

【開館・利用時間】9：00～17：00
【休館日】水曜日・祝日の翌日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-23-3489

❽　カノラホール（岡谷市文化会館）

ヨーロッパのオペラハウスに見られるU字型の桟敷席が特徴の大ホールを有する多目的ホール。コンサート、演劇、バレエなど幅広い文化活動が行われている。

【開館・利用時間】9：00～22：00
【休館日】月曜日・祝日の翌日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-24-1300

❾　イルフ童画館（日本童画美術館）

郷土出身の芸術家武井武雄の童画、版画、刊本作品などを展示。国内外の絵本作品の展示やワークショップの開催なども行っている。

【開館・利用時間】9：00～18：00
【休館日】水曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-24-3319

❿　旧渡辺家住宅

代々高島藩主に仕えた散居武士の住宅。この家から三人の大臣が生まれており、関係資料も展示している。茅葺屋根の木造１階建てであり、令和６年に屋根茅の葺き替えを行った。県宝指定。

【開館・利用時間】10：00～16：00
【休館日】月・木・金曜日・11 月 4 日～3 月 19 日
【電話】0266-26-7545（郷土学習館）

⓫　旧林家住宅

一山カ林製糸所の初代林国蔵の住宅。主屋と離れの座敷、茶室、洋館に分かれ、主屋の南側には繭倉庫の形式をとどめる土蔵が並ぶ。国指定重要文化財。

【開館・利用時間】9：00～16：30
（12 月～2 月末は 15：00 まで）
【休館日】水曜日・祝日の翌日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-22-2330

⓬　塩嶺野外活動センター

八ヶ岳中信高原国定公園内の岡谷市北部、塩嶺峠の頂上に位置し、周囲を素晴らしい自然に囲まれた「青少年の自然体験活動の拠点」として運営する施設。

【休館日】月曜日・11 月 1 日～4 月 30 日
【電話】0266-23-8028

⑬　長野県諏訪湖環境研究センター

諏訪湖を中心に県内河川・湖沼の水環境保全のため調査研究を行う施設。建物１階は、諏訪湖の特徴や現況について学ぶことができる常設展示があり、自由見学エリアと事前予約エリアに分かれる。

【開館・利用時間】9：00～16：00
【休館日】土曜日・日曜日・祝日・12 月 29 日～１月３日
【電話】0266-78-0151

あいとぴあ（長野県男女共同参画センター）

男女共同参画社会づくりのための研修・情報提供・相談等を行う総合的な拠点施設。

【開館・利用時間】9:00～17:00
【休館日】日曜日・月曜日・祝日・12 月 29 日～１月３日
【電話】0266-22-5781

⑭　諏訪湖ハイツ（おかや総合福祉センター）

福祉と生涯学習の機能を合わせもつ複合施設。温泉施設も併設。

【開館・利用時間】9：00～21：30
【休館日】毎月第 3 水曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-24-2290

⑮　わーくピア岡谷（岡谷市勤労青少年ホーム・岡谷市勤労会館）

勤労青少年及び働く市民の福祉施設

【開館・利用時間】9：00～21：30（月～金）
9：00～17：00（土・日）
【休館日】祝日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-23-2201

⑯ 郷土学習館

地域の生涯学習施設として、郷土のすぐれた先人の関係資料を展示し、幼児から高齢者までの生涯学習を推進する。

【開館・利用時間】9：00～17：00
【休館日】月・木・金曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-26-7545

⑰ eco ポッポ（諏訪湖周クリーンセンター）

一般廃棄物の可燃ごみ、破砕・選別後残渣（大型可燃ごみ）の処理施設。施設の見学や体験により、ごみ処理や資源、環境の大切さなどを学ぶことができる。

【ごみ受入時間】8:30～16：00（月～金）
8:30～12：00（土）
※日曜日、12 月 31 日～1 月 3 日は受入不可。
【電話】0266-78-1090

⑱ テクノプラザおかや

産業振興の拠点施設。展示会や人材育成に関わる技術講習、社内研修等を開催するため、企業等に会場の貸し出し等を行っている。

【開館・利用時間】8：30～21：30（月～金）
8：30～17：30（土・日）
【休館日】祝日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-21-7000

⑲ 岡谷太鼓道場

岡谷の観光資源、芸能文化である和太鼓の伝承・発展のため、演奏技術の習得や学習指導の推進を図り、太鼓のまちづくりに寄与することを目的とした施設。ダンスや舞踊等での利用も可能。

【開館・利用時間】17：30～21：30（月・火）
13：00～21：30（水・金）
9：00～21：30（土・日・祝日）
【休館日】木曜日・12 月 29 日～1 月 3 日
【電話】0266-22-6663

⑳ 旧山一林組製糸事務所

明治 12 年に創業した山一林組の事務所。１階には岡谷絹工房があり、岡谷絹の機織りの見学・体験ができ、各種絹製品も販売している。国登録有形文化財。

【開館・利用時間】9：00～16：00
【休館日】毎週 月・水・木・金曜日
【電話】0266-22-2245

○岡谷市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱

平成３１年４月１９日
告示・教育委員会告示第２号

岡谷市生涯学習推進本部設置要綱（平成２年岡谷市・岡谷市教育委員会告示第１号）の全部を改正する。

（設置）

第１条　岡谷市における生涯学習施策の総合的な推進に関し、生涯学習推進計画を策定するため、岡谷市生涯学習推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

(1) 生涯学習の計画策定に関すること。

(2) その他教育委員会が特に必要と認める事項

（組織）

第３条　委員会に、委員長、副委員長及び委員を置く。

２　委員長は、教育部長の職にある者をもって充てる。

３　副委員長は、生涯学習課長の職にある者をもって充てる。

４　委員は、職員のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

（職務）

第４条　委員長は、会務を総理する。

２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（委員会等）

第５条　委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

２　委員長は、第２条に規定する所掌事項を達成するため、必要があると認めるときは、委員会に幹事会を置くことができる。

３　幹事会の幹事は、職員のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

（懇話会）

第６条　委員長は、市の生涯学習に関する施策に対して、広く市民の意見を聴取するため必要に応じて生涯学習推進懇話会（以下「懇話会」という。）を開催する。

２　懇話会の開催について必要な事項は委員長が別に定める。

（庶務）

第７条　委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課が行う。

（補則）

第８条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営等について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

この告示は、平成３１年４月３０日から施行する。

プラン策定までの経過

令和６年度

５月～７月　　各種団体の意見聴取

５月１０日（金）　第１回岡谷市社会教育委員の会議

６月　４日（火）　第２回岡谷市社会教育委員の会議

７月１８日（木）　第１回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会
及び幹事会合同会議

７月２４日（水）　第３回岡谷市社会教育委員の会議

９月２０日（金）　第４回岡谷市社会教育委員の会議

９月～１０月　　庁内担当課による計画案の検討

１０月２９日（火）　第２回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会
及び幹事会合同会議

１１月　６日（水）　第５回岡谷市社会教育委員の会議

１１月　８日（金）　岡谷市定例教育委員会　中間報告

１２月２５日（水）～１月１４日（火）
パブリックコメント募集

１月１５日（水）　第６回岡谷市社会教育委員の会議

１月１７日（金）　第３回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会
及び幹事会合同会議

１月２０日（月）　部長会議

２月　７日（金）　岡谷市定例教育委員会にて決定

２月２８日（金）　行政管理委員会報告

３月１１日（火）　岡谷市議会総務委員会報告

岡　谷　市　民　憲　章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。
自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。
心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。
教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。
仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。

（昭和 46 年７月１日制定）

人　権　尊　重　都　市　宣　言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。

今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受け止め、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

（平成８年３月 21 日宣言）

お　か　や　子　育　て　憲　章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。
命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

（平成 14 年４月１日制定）

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン

（第7次岡谷市生涯学習推進計画）

発行日　令和7年（2025年）3月

発　行　岡谷市教育委員会

編　集　岡谷市教育委員会生涯学習課